

資料5 平成3年度 学級活動 月別 年間題材配当表

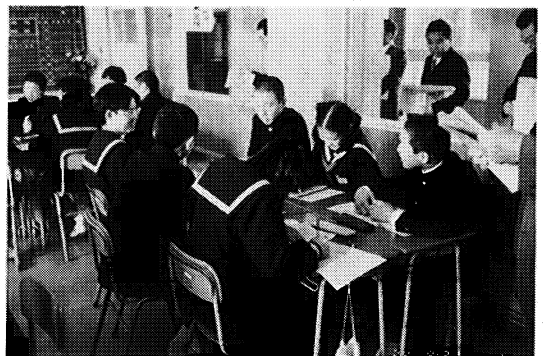
学 期 月	時 間	第一学年			第二学年			第三学年					
		内 容	(1)	(2)	(3)	内 容	(1)	(2)	(3)	内 容	(1)	(2)	(3)
			学生と 級活 ・の向 学充 授業上	健康・ 職業・ 社会 やの 安全の 充実の 全実員	持方満 来と切 の進な 生活満 まの沢		学生と 級活 ・の向 学充 授業上	健康・ 職業・ 社会 やの 安全の 充実の 全実員	持方満 来と切 の進な 生活満 まの沢		学生と 級活 ・の向 学充 授業上	健康・ 職業・ 社会 やの 安全の 充実の 全実員	持方満 来と切 の進な 生活満 まの沢
4	2	中学生の出発 学級の組織を作ろう	○	○		学級の組織を作ろう 新たな学年を迎えて	○	○		学級組織を作ろう 有意義な修学旅行にしよう	○	○	
5	4	係の仕事を理解しよう 健康・安全な生活 自転車の安全な乗り方 菊づくり(土づくり)	○	○		係り感動(学級・生徒会)を体験しよう 安全な生活の推進 学習生活の反省と改善 菊づくり「土づくり」	○	○		3年生になって 菊づくり(土づくり) 菊づくり(さし芽) ゆたかな学校生活	○	○	○
6	4	菊づくり(さし芽) 学習目標と心がまえ 積極的に計画的な学習 菊づくり(鉢上げ)	○	○		菊づくり(さし芽) 効果的な学習方法 働くことの目的と意義 菊づくり(鉢上げ)	○	○		将来の生き方を考える 卒業生の体験に学ぶ 3年生としての学習 菊づくり(鉢上げ)	○	○	○
7	2	1学期の学級生活を反省し よう 夏休みを迎えて	○	○		1学期の生活を反省しよう 夏休みにはこうしよう	○	○		自分をコントロールする 充実した夏休みにしよう	○	○	
8	1	学習方法の工夫		○		(充実した学級生活) 学級生活の改善		○		学習の要点と年間計画		○	
9	3	学級生活の改善 後期の学級組織をつくらう	○	②		健康と体力の増進 学ぶことの目的と意義 後期の学級組織をつくらう	○	○		青年期の自覚 自分についてのまとめ 後期の学級組織をつくる	○	○	○
10	4	私たちの将来の希望 私と友だち 学校行事に積極的に参加しよう 働く人びとのすがた	○	○		学習方法の検討と改善 職業と産業 学校行事をもりあげよう 職業の内容の特色	○	○		学級生活の充実 学級生活の改善 学校行事をもりあげよう 進路先の調査	○	○	○
11	3	働く人たちの仕事と考え 学習生活の充実	○	②		(生き方を考える) 有意義な生活 男女の理解と協力 (健康や安全) 交通事故の防止 (道路標識と交通法規)	○	○		安全への意識と活動 心身の健康 効果を高める学習	○	○	○
12	3	道路の歩行と横断 2学期の学級生活を反省し よう 冬休みを迎えて	○	○		(学ぶための制度と機会) さまざまな勉学の道 2学期の学級生活を反省し よう 冬休みにはこうしよう	○	○		学習上の問題解決 進路計画の最終検討と進路の選択 充実した冬休みにしよう	○	○	○
1	3	新年の抱負を語ろう 人と個性 中学生の悩み	○	○		新年の抱負を語ろう 勉学の機会(高等学校・高等 専門学校・その他の学校) (生き方を考える) 2年生の悩み	○	○		卒業までの生活 進学・就職の準備と実現への努力 卒業文集を作ろう	○	○	○
2	4	悩みの解決 進路計画の必要 進路計画の立て方 自分の進路計画を立てよう	○	○		悩みとその解決 (適性と進路) 自分の適性を考える 自分の特色と進路 進路計画の検討と興味	○	○		社会の一員としての生き方 青年期の悩みと解決 中学生生活のまとめ 中学生生活のまとめ	○	○	○
3	2	学級文集を作ろう 1年間を振り返って (進級の準備)	○	○		学級文集を作ろう 1年間を振り返って (3年生への準備)	○	○		将来の生活への心構え 希望にあふれて			○
計	35		12	15	8		11	15	9		12	14	9
			35時間				35時間				35時間		

(注) 第2、3学年の□内の題材名の指導計画は、例示してあるが、各学級担任は、それぞれの学級経営に基づいて、その授業計画を作成する場合、参考にできるようにした。

して自己実現が図れるようにする。また、進路をめぐり、情緒が不安定になり易い時期でもあるので、実態に即した指導を進めるようにする。

一学年は、題材「働く人たちの仕事と考え」、二学年は、題材「職業と産業」、「さまざまな勉学の道」、三学年は、「自分についてのまとめ」、「第三期を迎えて」について授業を試み、

各学年の段階に即した指導計画と指導法の有効性と問題点を検討した。また、事前指導および事後指導の内容についても検討を進めた。生徒の活動を重視した授業を意図的に展開



進路学習における話し合い活動

するため、指導過程においては、「始めの活動」「活動の展開」「活動の整理」の各段階を設けた。

(2) 平成3年度

一年次の成果を生かし、授業の構成については生徒個々の学び方や、活動の進め方の観点から追究した。

一学期に、一学年は題材「学級生活を反省しよう」、二学年は「働くことの意味と意義」、三学年は「将来の生き方を考える」について授業を試み、研究の視点①②③それぞれのアウを意図的に設定していくことにした。指導案においても、「本年度の現職教育研究主題、副主題との関連」